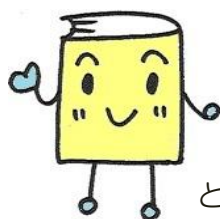




平成28年（2016年） 秋・冬号

＜＜ 中学高校生 ＞＞

ここ一年の間に図書館に入った
本を中心に、はばひろく
おもしろい本を紹介します

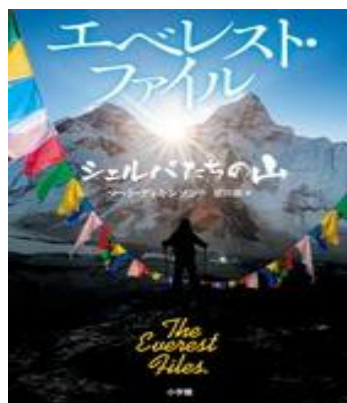


としょかんたろう



★ホームページにものっています★

<http://www.lib.ibaraki.osaka.jp/>



933-デイ
(外国の小説)

2016年3月

『エベレスト・ファイル シェルパたちの山』

マット・ディキンソン 作

(小学館)

原田 勝 訳

エベレストは特別な山だ。だから、皆、自分だけの理由を抱えて登頂に挑む。まっすぐな情熱だけではない、欲望や名誉やお金が渦巻く世界。大統領候補と言われるアメリカ人の冒険家と、愛する少女との結婚を賭けてシェルパになった少年が、極限の山で見たものとは…。偉大な山の前で、一人の人間としての闘いが始まる。エベレスト登頂の経験がある作者が描く、手に汗握る厳しくも美しい物語。



茨木市立図書館



ニ-サト
(日本の小説)

2016年3月

『小説念力家族 玲子はフツ〜の中学生』

佐東 みどり 作 (集英社)

片浦 絵 / 笹 公人 原案・短歌

フツ〜の中学生が、念力で物を動かしたり…というと、大げさな話になりそうですが、主人公の玲子はいたってフツ〜の中学生のままです。恋に友情にあたふたするときに、念力はまるで役に立ちません。それでも、学生生活を一生懸命に過ごしています。

登場する家族全員がとても魅力的で、楽しくテンポよく読める短編集です。一話ごとの短歌も楽しんでください。



K310
(政治)

2015年10月

『世界でいちばん貧しい大統領からきみへ』

くさば よしみ 編 (汐文社)

田口 実千代 絵

質素な生活ぶりや国連会議でのスピーチが話題となった元ウルグアイ大統領、ホセ・ムヒカさん。

“人生は素晴らしい冒険なんだ。たとえ20回挫折しても、やり直す価値があるんだよ。”

「自由」とは。「生きる」とは。遠い国でもどこか身近に感じる“世界でいちばん貧しい大統領”から、若い人たちへ贈るやさしく力強いメッセージ。



ニ-イト
(日本の小説)

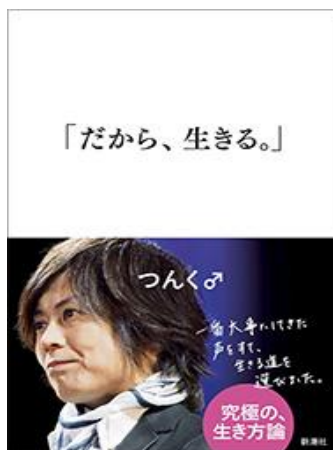
2015年11月

『車夫』

いとう みく ^{さく}作 (小峰書店)

主人公の吉瀬走は、17歳の時、父や母に捨てられ、高校を中退し、人力車を引いて走る車夫になりました。

この物語は、車夫として生きる主人公と出会う人達の7つの短編の話からできています。良いことも、悪いこともいろんなことがあります。懸命に生きている人達の生き方に、読み終わった後、温かい気持ちになれる本です。



764-15
(音楽)

2015年9月

『だから、生きる。』

つんく♂ 作

(新潮社)

1990年代ミリオンヒットをとばしたバンド、シャ乱Qで曲を作り、歌っていたつんく♂。後にはモーニング娘。などのプロデューサーとして活躍しましたが、咽喉がんになり声を失いました。

この本にはバンド活動を始めてからのつんく♂に起こったできごとや、その時々気持ちがわかりやすい言葉で、しっかりと書かれています。



936-ア
(ノンフィクション)

2015年11月

『ぼくは科学の力で世界を変えることに決めた』

ジャック・アンドレイカ 作

(講談社)

マシュー・リシアック 作 / 中里 京子 訳

膵臓がんの5年生存率はたった6%一。

家族同然だった大好きなおじさんをがんで亡くした高校生のジャックは、早く安く簡単に膵臓がんを発見するための方法を研究しはじめます。

学校でのいじめや、ゲイという性的傾向に葛藤しながらも、サイエンスの世界で輝かしい成功を収めた少年の実話です。



159-16
(人生訓)

2016年2月

『ありがとう』

寺井 広樹 作

(あさ出版)

R I E 絵

感謝の言葉は、あらためて言おうとすると照れてなかなか言えない言葉かもしれませんね。

この本には、大切な人に届けたい「ありがとう」という思いを伝えるメッセージが、日本語と英語で、優しくあたたかなイラストとともに書かれています。

様々な立場から書かれた、シンプルだけど心に響く39のメッセージです。



F-ナカ
(日本の小説)

2015年12月

『私は存在が空気』

中田 永一 作

(祥伝社)

この本の登場人物達には、超能力があります。存在を限りなく透明にする女子高校生、ジャンプで瞬間移動できるひきこもりの少年。だけどその力を使って大活躍する、というお話ではありません。

超能力がある以外ごく普通の彼、彼女達が、大切な人のために勇気を持って一步を踏み出していきます。

ちょっと不思議で、ほんのり切ないお話です。



290-16
(紀行)

2016年2月

『世界を知るために旅に出たら日本を知る旅だった 世界一周1000人ヘアカット』

桑原 淳 作

(宝島社)

世界を旅しながら、1,000人のヘアカットをするという目標を掲げ旅に出た著者。1年2ヶ月、全28ヶ国で達成。その旅で見えてきたものは何なのか、それは行った者だけにしかわからないこと。だから著者は言う。「旅に出てみよう」と。それは海外でなくてもいい。その人なりの旅。

この本で何かを感じたとしたら、明日からではなく、今日から何かしてみようかなと思える、そんな一冊です。

★「読みたいな」と思った本の予約・問い合わせは、下の図書館までお願いします。

中央図書館	☎627-4129	畑田町1番51号
中条図書館	☎622-2476	東中条町2番13号
水尾図書館	☎637-4416	水尾三丁目3番18号
庄栄図書館	☎620-1171	庄二丁目26番12号
穂積図書館	☎620-1056	松ヶ本町8番30号 イオンモール茨木内

編集・発行：茨木市立図書館

発行日：平成28年(2016年)10月

*本の表紙は出版社の許諾を得て掲載しています。